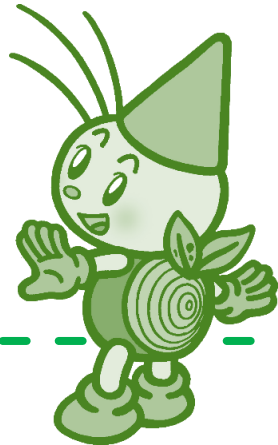


まるりん通信

発行 公益財団法人屋久島環境文化財団 電話 0997-42-2911



自然に親しむ集い

旅をする蝶「アサギマダラ」。彼らはなぜ旅をするのでしょうか？その生態は、まだまだ分からないことばかりです。あなたがマークを付けた蝶が遠く離れた場所で見つかるかも！

虫好きな人、興味を見つけない人、童心に帰りたい人…。皆さんのご参加をお待ちしています。

○日時	令和5年11月12日(日)9:00～12:00
○集合場所	屋久島町営農支援センター(麦生 ぽんたん館裏)
○活動場所	原地区・小島地区
○対象	小学生以上 (小学4年生以下は、保護者同伴が必要です。)
○参加料	1人200円
○定員	15人程度(先着順)
○参加申込 問合せ先	環境省屋久島自然保護官事務所 TEL:0997-46-2992 FAX:0997-46-2977 E-mail:RO-YAKUSHIMA@env.go.jp
○申込方法	①氏名 ②住所 ③年齢 ④電話番号 ①～④を明示し、電話、FAX、メールのいずれかでお申し込みください。
○申込期間	令和5年10月4日(水)AM9:00 ～ 令和5年10月26日(木) ※申込期間以前に連絡があったものについては、受け付けできませんので、ご注意ください。




RANKING
24
(全58作品)



ミュージアムキャラクター アワード2023 結果発表

ミュージアムキャラクターの日本一を決める「ミュージアムキャラクターアワード2023」が令和5年9月7日まで開催されました。

屋久島の森の妖精「まるりん」も参加しましたので、結果を発表します。

皆様「まるりん」への応援ありがとうございました。

インストラクター便り「生物はなぜ老いて、死ぬのか」

インストラクター 福元 豪士(やっくん)

「なぜ生物は死ななければならないのか。」と考えたことはありませんか？死ぬことが無ければ、将来のことに悩まされることなく、今を存分に楽しめるのにと真剣に悩んだことが私にはありました。

生物の死には大きく分けて2つあります。1つはアクシデントによる死。食べられたり、飢えたり、事故に遭ったりと思いがけないアクシデントによって生物は死にます。もう一つは、寿命による死。アクシデントが起ころなくとも、生物は必ず老いて死が訪れます。生命現象として老いて死ぬことがプログラミングされているとすると、死には大きな意味があるのではと考えるようになりました。

少し残酷な感じがしますが、多くの生き物は、食われるか、食えなくなって死に至ります。これをずっと自然のこととして繰り返しているのが自然界の循環です。つまりざっくり言うと、個々の生物は死んではいませんが、たとえ食べられて死んだ場合でも、自分が食べられることで捕食者の命を長らえさせ、生き物全体としては、地球上で繁栄してきました。寿命で死ぬ場合も基本的には同じで、子孫を残していれば自分の分身が生きていることになります。食う、食われる、そして世代交代による生と死の繰り返しは、生物の多様化を促しています。つまり生物にとっての「死」は、次の世代につながる自然で必然的なもののなのです。事実、自身の命と引き換えに子孫を残す生き物、例えばサケは産卵とともに死に、死骸は他の生き物の餌となり、巡り巡って稚魚の餌となります。もっと直接的な例ではクモの一種であるムレイワガネグモの母グモは、生きているときに自らの内臓を吐き出し、生まれたばかりの子に与え、それがなくなると自らの体そのものを餌として与えます。まさに、「死」と引き換えに「生」が存在しているのです。

命の連鎖の上に私たちは成り立っていて、死がなければ、そもそも今の私たちは存在しないことになります。生態系の中では、生物にとって死は必ずしも悪ではなく、命をつなぐ美しい現象でもあるのです。

村センター新商品紹介

村センターで新しく販売を開始した商品を紹介し
ます。普段使いやお土産にぜひどうぞ！

- 地域の自然を守るタオル(アオウミガメ)
- 地域の自然を守るタオル(アカウミガメ)

各990円(税込み)

高品質！今治ブランド



- 屋久島世界自然遺産30周年記念ロゴ入り
Tシャツ(鹿)

4,200円(税込み)

屋久島出身デザイナー
平山 優樹 氏 作



屋久島と口永良部島
が隠れているデザイン。必見。

屋久島を想う (9月号から続き)

事務局次長 金井 俊久

下り編(ヤクスギ、ヤクシマ、石畳)

夏の朝日は容赦なくオジの体を照りつける。次に歓迎してくれたのは、立て続けにヤクシカとシャクナゲだった。少し息が切れ、汗ばんできたところで傾斜は下りへと変わった。人集りがしている。登山客？「もしや・・・」期待はあっさり裏切られた。ヤクスギはもう3枚目である。目的地の職場も近づいてきた。最後は同じく3枚目の「ヤクシカ」。ついに幻の「縄文杉」を拝顔することは叶わなかった。



でもこれはこれでよかった。
幻はまぼろしのままでいい。

このすばらしい石畳の町、宮之浦。この町の歩道には趣がある。モダンな色使いと歴史を感じさせてくれる凸凹感がいい。かつて町づくりに尽力した先人たちに思いを馳せる。歩くと見えてくるものも結構ある。



【10月・11月の休館日】村センター・研修センター休館日は同じです。

10月：2日(月)・10日(火)・16日(月)・23日(月)・30日(月)

11月：6日(月)・13日(月)・20日(月)・27日(月)